

大阪 需要停滞受けなおも軟調様子見推移

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見横ばい。関東湾岸の値戻しによって、外部環境に改善の兆しが見られつつも、電炉入荷は安定もしくは使用量を超え、一部で品種・時間制限買いも行われていることで、需給面で力を欠いており、なおも先行き懸念は解消されてこない。同地区電炉のH2実勢値は2万3,500~2万4,000円(一部上値2万5,000円)、新断バラ同2万6,500~2万7,500円、鋼グライ粉バラ同2万~2万1,000円(同2万2,000円)見当で推移。

関東テンダーの好結果を受け、関東湾岸では値戻しが波及し、新規輸出オファーもテンダー価格に積み込み費用を加えたH2FOB2万6,000円前後へ上昇しており、これまで電炉側の意向が反映されやすかった海上

関西鉄源連合会、15日(月)に第68回共同輸出テンダー

(大阪) 関西鉄源連合会(黒川友二会長:扶和メタル会長)は15日(月)、第68回共同輸出テンダーを実施する。落札予定数量は5,000~1万ト、品種はH2グレード中心。積期は2017年5月18日(木)~6月30日(金)まで。

西送りも入手しづらい雰囲気にあるため、「在庫販売も一息付き、売り急ぐような状況でもなくなってきた。テンダーを下支えに、まだしばらくは落ち着いた展開となるのでは」(ヤード業者筋)という。

一方、地区内では荷動きに多少の落ち着きが見られつつも、連休操業終了後で需要は停滞しており、各社、日量で見れば安定した入荷水準を維持する格好にあるようだ。在庫高や月末には一部炉休などによって、需給タイト化には振れにくく、韓国・現代製鉄やPOSCOも在庫レベルが高い以上、関東湾岸の上伸も一過性との見方も拭えないだけに、「方向性が非常に読みづらいが、海外及び需給面で明確に底打ちしたとは言い難く、先々への不安は根強い」(商社)との声が聞かれる。

見積もり提出期限は15日(月)正午。

第67回は3月16日に行われ、エコネコルがトン当たり2万9,530円(5,000ト)で落札した。

近畿工業、「2017NEW環境展」に出展、5月発売開始の新型破砕機とスーパーシュレッダーをPR

(兵庫) 破砕機・選別機メーカーの近畿工業(株)(本社=兵庫県神戸市中央区栄町4丁目2番18号、和田直哉社長)は5月23日(火)~26日(金)に東京ビッグサイトで開催される「2017NEW環境展」に今年も出展を予定している。

砕く・剪る・選ぶに強みを持つ同社が今年の環境展に満を持して出展する機械は一昨年の販売開始からすでに丸本鋼材(本社=広島県)、マテック(本社=北海道)といった国内屈指の大手金属リサイクラーへの納入実績を持ち、現在でも見学や引き合いの多いスーパーシュレッダーと5月から発売を開始する金属リサイクル向けに新たな技術を盛り込んだ新型破砕機を予定しており、いずれも処理工程の動画とプレゼンで機械のPRを行う予定だ。

各種複合物の分離性を高めるスーパーシュレッダー

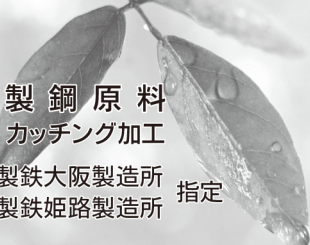
は単重30kgまでのコンプレッサーなどモーター類を中心とした鉄・非鉄の複合物から銅含有率の高い高付加価値スクラップを抽出する。同社製選別ラインを組み合わせることで、アルミやステンレスなど幅広い非鉄類が回収可能だ。同機は「CO₂型リサイクル高度化設備導入促進事業」の認定機となっており、導入費用の2分の1を上限に優遇税制を受けられる。

また、今月から市場投入する新型破砕機は堅型回転式破砕機に改良を加え、①優れた単体分離性②省エネ&省スペース③画期的破砕粒度調整機構を実現。家電・自動車のモーターや電気メーターなど小型金属複合物を処理対象としている。

【機械に関する問い合わせ先】

近畿工業(株) 兵庫県神戸市中央区栄町通4-2-18
電話078-351-0770

私達は資源リサイクルに貢献します



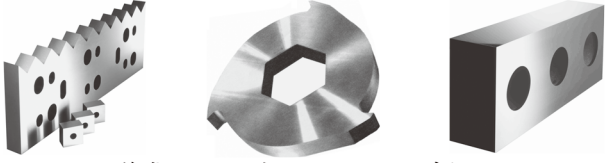
製鋼原料
カッチング加工
合同製鉄大阪製造所 指定
合同製鉄姫路製造所

環境に優しく、
環境を守る、
総合リサイクル企業

株式会社 西島商店
代表取締役 西島康孝

本社 大阪市西淀川区佃6丁目3-14
電話 06(6472)2881番(代表)
FAX 06(6472)2909

生産から廃棄物処理まで
ナニワの刃物が応援します!



浪速刃物製作所
株式会社

本社 〒536-0004 大阪市城東区今福西4丁目3-22
TEL 06-6939-4871 FAX 06-6939-4874
東京 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町446-1
TEL 048-925-4554 FAX 048-924-1974
E-mail info@naniwa-hamono.co.jp